

日本地衣学会 No.159 ニュースレター

Newsletter from the Japanese Society for Lichenology

目次

会務報告	619
日本地衣学会第19回大会・総会・観察会報告／中嶋 裕之	619
日本地衣学会評議員会（メール会議：2020年11月3日-17日）議事録 ／中嶋 裕之	619
お知らせ	623
ニュースレター編集委員会からのお知らせ／坂東 誠	623

会務報告 *Reports of the JSL Activities*

日本地衣学会第19回大会・総会・観察会報告

Report of the 19th Annual Meeting, General Meeting and Field Meeting of JSL, 2020 / by

NAKASHIMA Hiroyuki

>>>>>>> 中嶋 裕之：庶務幹事

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の発生状
況を考慮し、2020年度の日本地衣学会第19回大会

および第19回観察会は中止しました。なお、第19
回総会の扱いについては現在検討中です。

日本地衣学会評議員会（メール会議：2020年11月3日-17日）議事録

Report of the JSL Councilors' Meeting on e-mail, 3-17 Nov. 2020 / by NAKASHIMA Hiroyuki

>>>>>>> 中嶋 裕之：庶務幹事

日時：2020年11月3日（水）-11月17日（水）
メール会議にて実施。

衣美，（会長）原田 浩，（役員）中嶋 裕之，川
上 寛子，（編集委員長）小峰 正史。

受信者（敬称略）：（議長）木下 靖浩，（評議員）

* * *

高取（木下） 薫，坂田 歩美，原 光二郎，河崎

I. 2019年度事業報告

1. 会員数は、2020年9月28日現在180名(一般123, 学生14, 海外一般25, 海外学生7, 有功1, 団体2, 名誉8)で昨年より3名増加した。

2. 以下の報告が承認された。

(1) 主催大会, 観察会

①日本地衣学会第18回大会(ニュースレターNo.155)が, 古田雅一氏(大阪府立大学)を大会委員長として, 大阪府立大学 I-site なんば(大阪市)にて7月13日~14日(参加者33名, 講演等: 一般講演13題, 公開シンポジウム「文化財の微生物制御」講演3題(河崎衣美氏, 濱田信夫氏, 土戸哲明氏))に開催された。懇親会はチャコールグリルパーラーオルケスタで開催され, 27名が参加した。

②第18回学会主催観察会が長野県東御市湯の丸高原にて, 10月19日~20日に計画されていたが, 水害により中止となった。

(2) 学会誌等の刊行

①学会誌 Lichenology 第18巻1号(2019年8月31日), 2号(2020年3月30日)が発行された。

②日本地衣学会ニュースレター152号が2019年2月14日に, 153号が2月27日に154号が5月22日に, 155号が9月18日に, 156号が12月5日に発行, それぞれホームページで公開された。

(3) 委員会の活動

①地域活性化委員会: 第15回秋田ワークショップが, 秋田県立大学で8月8日~11日に開催された。第42回青空地衣教室が鎌倉市の妙本寺で12月1日に開催された(参加者11名, ニュースレター158号に掲載)。

②学術交流委員会:

・自然史学会連合対応, 12月の総会に坂田歩美氏が出席した。分担金20,000円を支払った。

・日本分類学会連合対応, 第18回公開シンポジウム「最近話題となった日本からの新種, 珍種, 新発見」及び総会(1月12日)に坂田歩美氏, 小杉真貴子氏が出席した。分担金10,000円を支払った。

・菌学会については原光二郎氏に対応してもらうこととした。植物学会については引き続き検討する。その他学会については, 日本地衣学会会員の中で各学会への参加者に対応を依頼する予定である。

③ホームページ運営委員会: 海岸生地衣類を中心とした, 日本産地衣類のDNAバーコーディングのためのデータベースの作成を進め, 公開の準備を進めた(原光二郎氏)。

④国際学会対応委員会対応: 原光二郎氏に対応してもらうこととした。

⑤日本の地衣フロラ解明プロジェクト: プロジェクト独自の活動無し。

⑥発酵研究所からの助成を受けて「日本産海岸生地衣類の種多様性解明と同定ツールの開発」(研究代表者: 原田氏)を進め, 成果として「日本産海岸生地衣類図鑑(1)大型地衣類」「同(2)アナイボゴケ科」を公表, 他の群については投稿中あるいは検討中である。この「図鑑」をまとめるウェブコンテンツの千葉県立中央博物館での公開準備を進めるとともに, DNAバーコーディングのためのデータベースを学会HPで公開の準備を進めた。

(4) 選挙

1) 会長選挙結果の報告 2019年9月30日

8月末日、推薦締切り。評議員会からの推薦者
原田浩氏（千葉県博）1名。

9月28日、信任投票締切り。

9月29日、開票作業。投票総数61票、信
任61票、不信任0票、無効0票。

選挙管理委員会：坂田歩美委員長、木下靖浩
委員。

立会人：泉宏子氏、東あすさ氏。

2) 次期役員の指名 2019年9月30日

原田次期会長により、以下の次期役員を指名
（敬称略）。庶務幹事 中嶋 裕之、会計幹
事 川上 寛子、編集委員長 小峰 正史。

3) 評議員選挙結果の報告 2019年12月29 日

国内在住通常会員（次期役員を除く）を対象
とし、11月22日、投票締切り。

11月23日、開票。選挙管理委員会（坂田
歩美委員長、木下靖浩委員）による開票作業が、
原田浩会長、泉宏子氏の立ち会いのもと行わ
れた。

得票数の集計が厳正に行われ、得票数の上位
5名を候補者とし、その内承諾の得られた4
名が次期評議員に決定。更に新評議員の互選
により、最多得票の木下靖浩氏が新議長に決
定された後、地区の偏りを是正する目的で追
加候補2名が指名され、その内本人の承諾を
得られた河崎衣美氏が追加評議員に決定し
た。さらにこの5名の新評議員会にて、坂田
歩美氏と高取（木下）薫氏の2名が新監事に
決定した。

投票用紙：34枚、有効票数：170票

木下靖浩：24票

坂田歩美：18票

坂東誠：15票

原光二郎：14票

高取（木下）薫：12票

小杉真貴子：9票

安斉唯夫：7票

竹仲由希子：6票

綿貴攻：6票

河崎衣美：5票

坂井広人：4票

坪田博美：4票

宮脇博巳：4票

（敬称略、得票数3票以下は省略）

新評議員（敬称略）

木下靖浩（議長）

坂田歩美（監事）

原光二郎

高取（木下）薫（監事）

河崎衣美（追加）

* * *

II. 2019年度決算報告・監査報告

報告は承認された。

* * *

III. 入・退会承認

入会および退会者について承認された。

* * *

IV. 2020年度事業計画

1. 主催大会、観察会

（1）日本地衣学会第19回大会

コロナウィルス感染状況を考慮すると、通常の大会は開催が困難。そこで、オンライン大会の検討をしたが、現状では技術的に困難と考えられた。オンデマンドによる開催も検討したが、課題が多いことが判明した。よって、19回大会は中止と

する。

※当初計画、会場：愛媛県総合科学博物館、会期：8月29（土）～30（日）、大会準備委員長：川又明德氏（地域活性化委員会委員長、中国・四国地域）。

(2) 第19回学会主催観察会

コロナウィルス感染状況を考慮すると、観察会の開催は困難と考えられるため、中止とする。

※当初計画、場所：湯ノ丸高原他（長野県東御市・群馬県嬭恋村）、担当：綿貫攻氏（地域活性化委員会、関東）。

2. 総会

大会開催ができないため、何らかの形で総会を開催する必要がある（会則を確認する必要あり）。

3. 印刷物発行

(1) 学会誌 Lichenology（編集委員会）：第19巻1号（11月予定）、2号（2021年2月予定）。

(2) 日本地衣学会ニュースレター（ニュースレター編集委員会）：ホームページで逐次公開（坂東誠氏）。

4. 委員会報告

(1) 地域活性化委員会（川又明德委員長）

・第43回青空地衣教室の開催は、コロナウィルス感染状況を考慮の上、検討。

・第16回秋田ワークショップ：秋田県立大学、中止。

(2) 学術交流委員会

・自然史学会連合：分担金20,000円を支払う予定。

・日本分類学会連合：1月、総会とシンポジウム開催。原田浩会長・坂田歩美氏が出席予定。分担金10,000円を支払う予定。

・菌学会（原光二郎氏）：2020年6月19日

（金）-21日（日）に開催が予定されていた日本菌学会第64回大会は、コロナウィルス感染状況を考慮の上、中止となった。本学会員を中心に地衣類に関するシンポジウムが計画されていたが、次大会以降に再計画される可能性あり。

・その他：植物学会についての対応は引き続き事務局で検討する。

(3) ホームページ運営委員会（原光二郎委員長）

(4) 国際学会対応委員会

担当を検討中である。

(5) 日本の地衣フロア解明プロジェクト：図鑑改定の一環として「日本地衣類誌」の執筆を検討し、チェックリストの改定作業を進める。ウェブ図鑑は、千葉県立中央博物館のデジタルミュージアムのコンテンツとして①「海岸生地衣類」を2020年にアップした。既に公開している②「房総の地衣類誌」、③「日光の地衣類」とともに活用する形を検討する。「日本産地衣類のDNAバーコーディングのためのデータベース」の学会HP内における試験公開を始めており（①に関連して）、更に整備を進めていく（原氏）。

* * *

V. 2020年度予算案

本予算案は承認された。

* * *

VI. 審議事項

1. 各委員会等の課題等について

(1) 海外会員への学会誌発送について（庶務幹事、会計幹事）

・Lichenology18(2)は、コロナ禍に伴い会員中国5名への発送ができず（4月）保留中、これらについては、Lichenology19(1)と共に発送の予定

である。

一方、韓国7名からは受取宛所不明のため返送された。本件については、再度送付先を確認の上対応の予定である。

2. 来年度以降の大会、観察会について

(1) 第20回日本地衣学会大会：通常の形式での開催ができるか不透明であるため、オンライン大会での開催が望ましいのではないか、その方向で検討を進める。

(2) ウィズコロナにおける活動：大会を中止する場合、学会の主要な活動の場が失われるため、何らかの情報交換等の機会を増やすなどの工夫の検討が必要。

3. 役員等の交代等

・会計幹事、川上寛子氏（2019～2020）、次期（2021～2022）継続予定。

お知らせ *News and Announcements*

ニュースレター編集委員会からのお知らせ

From Editorial Board of the JSL Newsletter / by BANDO Makoto

>>>>>> 坂東 誠：ニュースレター編集委員長

電子メールで投稿する場合における書き方の変更についてのお知らせ

ニュースレターNo.154の「ニュースレター編集委員会からのお知らせ」において、電子メールでニュースレターに投稿する場合における原稿の書き方をお知らせしましたが、ニュースレターNo.158より「本会記事」を「会務報告」に統合したことに伴い、その一部について以下のように変更することをお知らせします。

* * *

ニュースレターNo.154, 597頁, 左7行目から11行目

変更前)・**著者所属** 原則として、会務報告などでは、学会における役名または所属組織名などを、その他では著者の立場に応じた所属組織名などを書いてく

ださい。著者が複数の場合には、それぞれ著者所属を書いてください。

変更後)・**著者所属** 日本地衣学会の役員または組織などの立場で投稿する場合には、学会における役名または所属組織名などを、それ以外の場合には著者の立場に応じた所属組織名などを書いてください。著者が複数の場合には、それぞれ著者所属を書いてください。

【注】「会務報告」とは「会の事務報告」という意味ですが、「本会記事」を「会務報告」に統合したことに伴い、ここでいう事務を「取り扱う事柄」「仕事」「務め」という意味に解釈し、「書類作成などの主として机の上で行う仕事」という意味に限定しないものと解釈します。

◆原稿募集

本誌は、会員からの原稿を随時募集しています。地衣類にまつわるエピソード、思い出、あるいは地衣類に関する

写真とタイトル、簡単な説明文だけでも受け付けます。電子メールにて次のアドレス宛に投稿御願います：
bandomakoto@aa6.mopera.ne.jp (坂東 誠)

●複製される方へ

本誌に掲載された著作物を複製したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の従業員以外は、図書館も著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体からの許諾を受けてください。著作物の転載・翻訳のような複製以外の許諾は、直接本会へご連絡ください。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル 学術著作権協会。

Tel: 03-3475-5618. Fax: 03-3475-5619. E-mail: naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp

アメリカ合衆国における複製については、次に連絡してください。

Copyright Clearance Center, Inc. 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA.
Phone: (978) 750-8400. Fax: (978) 750-4744

●Notice about photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission from the following

organization which has been delegated for copyright for clearance by the Japanese Society for Lichenology.

Except in the U.S.A.: Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC).

6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan. Tel: 81-3-3475-5618. Fax: 81-3-3475-5619. E-mail: naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp

In the U.S.A.: Copyright Clearance Center, Inc. 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA. Phone: (978) 750-8400. Fax: (978) 750-4744.

● *Newsletter from the Japanese Society for Lichenology*, no. 159, pp. 619–624: eds. Bando M., Kawasaki E., Tanaka K., published by *the Japanese Society for Lichenology*, 24 Mar. 2021.

日本地衣学会ニュースレター159号

発行日：2021年3月24日

編集：坂東誠・河崎衣美・田中慶太

発行者・発行所：日本地衣学会

〒830-8555 福岡県久留米市小森野1-1-1

久留米工業高等専門学校 生物応用化学科内

©2021日本地衣学会 (© 2021 The Japanese Society for Lichenology)

本誌記事の著作権は日本地衣学会に属します。無断転載・無断複写等は固くお断りいたします。